

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

5-Ⅲ-13

5-Ⅲ-13

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	発信情報の鮮度管理
節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信		
事業(施策)名	13 各種発信情報総合鮮度管理	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	県観光協会、佐渡観光交流機構
事業概要	【事業目的】 ○ 各種関連情報に係る鮮度管理を図り、適時適切な情報提供により、リピーター確保に努める。 【事業内容】 ○ 各種媒体で発信する情報の鮮度を一元的に管理・チェックする体制を整える。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 発進する情報の鮮度を適切にたもち、個人が反復して情報に触れられるようにする。		
これまでの取組実績	○ 関連団体と連携し、パンフレットの内容を見直した。 ○ 多言語パンフレットについては、市国際交流員によるネイティブチェックを行った。 ○ 英語版のバスマップを作成した。 公式サイト「さど観光ナビ」において、旅のトレンド情報を掲載する記事ページ「さどじまん」を実装した		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 観光総合パンフレット「佐渡さんぽ」や各地区における観光マップの最新版を作成する際に、各情報の鮮度確認を行う。 【R6年度実績】 ● 佐渡さんぽや観光マップ更新の際、スポット情報更新を行った。 ● 両津・小木地区のまち歩きマップ作成の際、最新の情報に更新した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 〔 A ・ B ・ C 〕 ◇ 観光パンフレットやマップの作成の際には情報の更新に取り組み、外国語版の作成の際には市国際交流員によるネイティブチェックを行うなど、情報の鮮度管理とインバウンドフレンドリーな情報発信に取り組んだ。		
課題	■ 情報鮮度を保つため、各関連団体との連携や情報発信の頻度について今後も適切に行う必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。